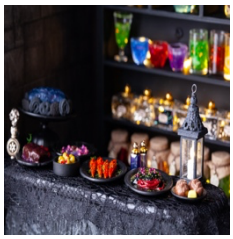
【ミニチュアビストロの世界展 2026 参加アーティスト】

■ミニ厨房庵(Instagram @minichuubouan_tyakitchen)



属加工の技術を活かし、ミニチュアサイズの鍋や調理器具など、細部までこだわった作品を制作。東京にてドールハウスショップ「ミニ厨房庵」を設立し、現在は工房兼ショップを拠点に、ネット販売やイベント出展を中心に幅広く活動している。
これまでに全国各地の百貨店での展示・個展をはじめ、数多くのミニチュアイベントに参加。その作品は国内外のメディアでも高く評価され、テレビ出演・新聞掲載・企業誌掲載のほか、海外博物館での展示、テレビ CM への採用、海外雑誌への掲載など、国際的な実績も豊富である。
海外では「TYA Kitchen」名義で活動を展開し、繊細かつリアルな再現力によって、多くのファンを魅了している。

■ N=yatsugatake(Instagram @nyatsugatake_fanlab)



ドールハウスやジオラマの手法を用い、1/24〜1/720 スケールで多様なミニチュア作品を制作する作家。緻密な造形力と空間演出に優れ、表現の幅広さを活かして、これまでにさまざまなアニメ作品とのコラボレーションを行っている。
シーン再現や世界観の構築に定評があり、ミニチュアでありながらも原作の魅力やストーリー性を立体的に表現。アートとしても高い完成度を誇り、アニメファンのみならず幅広い層から支持を集めている。

■こいなつ(Instagram @koinatsu1327)



無趣味でお金をかけずに始められる趣味を探していたところ、昔好きだったミニチュアへの興味が再燃し、2021 年から樹脂粘土でミニチュアフードを作り始める。粘土やミニチュアをより身近にたくさんの方に楽しんでもらいたいという思いから YouTube チャンネル『こいなつおねんど日和』でミニチュアフードの作り方や小芝居を配信中。最近では保育士の経験を活かし保育のおもしろエピソードを集めた『森の保育園シリーズ』も展開中。主に子どもたち向けにワークショップを開催するなど活動の場を広げている。

■(さかなさん@sakanasan2021)



小さな頃からミニチュアフードや食品サンプルに強い憧れを抱いていた作家。
子どもの小学校入学をきっかけに、長年の夢だったミニチュアフード制作をスタート。「美味しそうでかわいい定食作り」をテーマに、見た人が思わず笑顔になるような、あたたかみのある作品を手がけている。家庭的な食卓をモチーフに、リアルと遊び心を織り交ぜた独自の世界観が魅力。

■(kodamama@kodamama1106)



「娘をアンパンマンミュージアムに連れて行きたい！」という想いをきっかけに、ミニチュア制作の道へ。何の知識もない状態から、100 円ショップの粘土とアクリル絵の具を手に、独学で制作をスタート。それから 8 年、地道な努力を積み重ねながら、温かみのある作品づくりを続けてきた。
現在は、「ミニチュア写真の世界展」や博多阪急、阪神百貨店など、全国の展示会で作品の展示・販売を行うほか、習い事アプリ「miroom」では講師としても活躍中。見る人に楽しさと優しさを届けるミニチュアの世界を広げている。

出展者は上記ほか、あべとものミニチュアごはん、いとさん、ウオちゃんのフェイクフード屋さん、くげぬま工房、ここなっつ、ことなのうそっこ食堂、竹田文子、たまや食堂、ちゃきぴこ、まいにちごまふぅ、ミニチュア喫茶とらこ、マロン、ミニチュア café＊みる、A's café、Atelier-mii、ARANKO LEMON、ebisukaasn、Espoir、Fairy Candy、HARU's Gallery、Hikko、iro-to katachi、little pear、Le Sucre、kerosaka、kitsuneiro、ma-yu、miniature 理図、＊miniaturefood Kei＊、miroture_food、mizoregumo、mokomiu、Mona Cafe、popopo、R.miniart、Seakarats、Ten's magnet、Twinkle、otomenokai、yokan、y’s factory、Yubirobo House、yurayurakoubou など全 48 組を予定。

※出展クリエイターは予定となります。